



第218号
発行
奥多摩町教育委員会
令和元年12月1日現在
児童数 144名
生徒数 76名
教職員数 45名

芸術鑑賞教室

小学校

10月3日に「奥多摩町芸術鑑賞教室」が氷川小学校にて行われました。児童からは、『体育館に入った瞬間、舞台がセッティングされていて驚きました。』と様変わりした様子を、感想で述べていました。原作を読んだ児童は、『劇だと言葉に命が吹き込まれたようになり伝わり易いと思いました。ひとつのセリフでも伝わり方が違うから、いくらでも広がって良いなと思いました。』と、違いや良さについて述べていました。劇中には、音にならない文字なんて必要ないと、からかわれた小さい「つ」は、村を飛び出してしまうという場面がありました。その後の世界では、弁護士が「うったえます



か？うったえませんか？あなたからオツケがあれば訴えますよ。』と言おうとすると「歌えますか？歌えませんか？あなた方オケがあれば歌えますよ。」となつてしまいます。吹き出してしまふこの場面を、『これは、すごくひねっていておもしろかったです。』とある児童は絶賛していました。演技については、『小さい声を観客に聞こえるくらいで、コントロールして凄い。』という

感想が寄せられました。最後に、花束贈呈がありました。会場全員の思いが一体となり素晴らしいフィナーレとなりました。

氷川小副校長 山根祐哉

中学校

本年度の芸術鑑賞教室が、10月11日に行われました。今年度は、ともしび音楽企画の清水正美さんとベイビー・ブーさんによるコンサートを鑑賞しました。プログラムは、懐かしい童謡やみんながよく知っている曲で構成されていて、中には奥多摩中学校の校歌もあり、みんな合唱しました。また、ドレミの

歌に手の動きを付けて歌う、楽しい歌い方も教えていただき、会場は大いに盛り上がりました。さらに、サブライズで当日



が誕生日の生徒2名に、ベイビー・ブーさんから♪Happy Birthdayの歌のプレゼントがありました。2人は、少し照れながらも、満面の笑みをうかべていました。演奏終了後、生徒会長からは「今月行われる音楽祭では、皆さんのように堂々と歌いたいです！」という言葉があり、音楽祭に向けての士気も高まったようです。

当日はあいにくの天候でしたが、清水さんとベイビー・ブーさんの美しい歌声が心に響き渡る素敵なコンサートでした。奥多摩中学校にお越しいただき、ありがとうございました！

奥多摩中 星野 靖



修学旅行

9月4日から2泊3日で行われた修学旅行。今回の修学旅行は2学期が始まってわずか1週間での出発。1学期には大方の準備は済ませてあったとはいえ、3日間のコースの最終確認、しおりの読み合わせ、各係の最終確認等、直前でなければできないことも多く、慌ただしく最後の準備を整えての出発となりました。



初日、一番心配されたのは天気でした。法隆寺の見学を終え、奈良公園に向かう車中、とうとう雨が降り始め、土砂降りに。どうなることかと思っていました。奈良公園に着く頃には小降りになり、散策中には陽も差し、大仏殿の回廊を歩いていると東の空に虹も見えました。鹿せんべいを手に、鹿に追われる生徒の姿も。と

もあれそれぞれに奈良の街を満喫していました。

2日目は、シルバーガイドさんとの京都市内班行動。京都の暑さに閉口しましたが、清水寺で生徒と食べたかき氷の味は、私にとっても一生の思い出になりました。シルバーガイドさんの案内もとても分かりやすく、事後アンケートからも、多くの生徒が京都の良さや歴史を深く学ぶことができたようです。

3日目はタクシーでの京都市内班行動。天気は快晴。そして暑い。しかしドライバーさんほどなたも親切で、最終日の京都市内を充実して巡ることができました。汗をかきかき食した抹茶ソフトの味も格別でした。

3日間を終え、係会議や班会議で、自分たちの行動をしっかりと振り返り、積極的に意見を出し、改善策を話し合う姿に、夕食時に何杯もおかわりする姿に、レク大会で、みんなで盛り上がり楽しんでる姿に、「さすが3年生だな。本当にたくましく成長したな。」と感慨を深くする修学旅行でした。

奥多摩中 浜中伸良

第5回音楽祭

「勝ったねー!」「はいー!」。本番の全てのプログラムを終え、実行委員長と固い握手を交わしました。

「一人ひとりの『色』を 歌にのせて」とのスローガンのもと10月26日に行われた、奥多摩中学校第5回音楽祭。開催の2週間前に襲った台風19号の影響は、がけ崩れや道路の寸断、一部地域の断水など、奥多摩町内にも大きな爪痕を残しました。学校も断水になる中、開催自体も危ぶまれましたが、当日は穏やかな天候の中、無事に開催することができました。

不慣れた生活を強いられているご家庭もあったかも知れません。放課後の練習もできない日があり、無事に本番を迎えられるのかという不安もあったかも知れません。

「自分をあきらめず、誰かの笑顔のために、最後の勝利をつかめ」という思いがこもった今年のオリジナル曲「スケッチブックくこの道の先へ」。そのメッセージの通り、生徒たちは全て

を乗り越えて、一人ひとりの色を輝かせ、見事な歌声を響かせてくれました。

初めての音楽祭ながら、積極的に意見を出し合い、より良い表現を目指して、一生懸命な歌声を響かせてくれた1年生。「あきらめ」の自分を越えて、自分を仲間を信じてることを決め、ともに生きた全てのページを輝かせた2年生。そして、3年間の取組の集大成として、あくなき挑戦で、自分たちの手で最後の勝利をつかんだ3年生。



実行委員の陰日なたでの働き。指揮者、伴奏者の何度も繰り返し努力。パートリーダーのともにも向上しようとする心。そしてひとつに溶け合う豊かなハーモニーを奏でてくれた奥中生全員に、心からの「ありがとう」を伝えたい。

奥多摩中 浜中伸良

5年生 大島移動教室

7月11日～13日5年生の「大島移動教室」が古里小・氷川小、合同で行いました。



1日目、小田原の鈴廣かまぼこの里であげかまづくり体験を行い、熱海からジェット船で大島に向かいました。大島到着後すぐに荒々しい溶岩の三原山を見学しました。昨年と一緒に都内移動教室に参加しているのので、両校の児童はすっかり意気投合し、夜のレクリエーションは大いに盛り上がりました。
2日目、スキンダイビングで

魚や海藻を見ました。当日の海は寒かったのですが、海に入っ
て泳ぐ体験は何にも代え難いものでした。「魚が見えた!」という歓声が聞こえました。

3日目は、大島の椿油の工場や動物園の見学、最後に名物のアイスを食べて、お土産タイム。2泊した大島と別れ、ジェット船に乗り込みました。

『二人ひとりが責任をもって仕事をし、みんなが笑顔で両校の絆を深める移動教室にしよう』というめあてを、十分に達成できた、移動教室になりました。

古里小 野田 豊



6年生 日光移動教室

7月29日～31日『日光の豊かな自然に親しもう。日光の歴史や文化を味わおう。古里小・氷川小、皆で協力し、仲良く生活しよう。』というめあてで、6年生の「日光移動教室」を行いました。



1日目、曇りのち小雨の中、小田代ヶ原から三本松までハイキングを行い、その後ピジターセンターに行ったり、足湯を楽しんだりしました。夜は親睦を深めるレクリエーション、2回目の宿泊なので、最初から仲間同士です。
2日目は晴れました。朝、源

泉を散歩し、湯滝から赤沼、竜頭の滝まで班ごとに歩きました。気持ちのいい散策でした。その後、華厳の滝見学、中禅寺湖で船で湖の上を渡り、光徳牧場でアイスクリームを食べました。夜には、日光彫の体験も行い、充実した1日が終わりました。

3日目、最後の日、宿に別れを告げ、日光東照宮へ。ガイドの方の案内があり、有名な彫刻や陽明門を堪能してきました。ゆっくり世界遺産をめぐり、帰路につきました。

小学校の最終学年のこの旅を、彼らは一生忘れないと思います。歩いたこと、見たこと、触れ合ったことが、この先の彼らの糧になると信じています。

古里小 成宮慶有



4年生 都内移動教室

10月17・18日に1泊2日の日程で、奥多摩町の4年生は移動教室へ行ってきました。

1日目は、午前中に広大な大田清掃工場へ行きました。あのような巨大な処理施設を見たことが初めてだったので、まずは大きな歓声があがりました。またとてつもない量が運ばれてくることに、東京都の人の多さを再認識することができました。

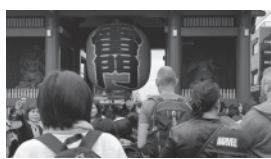
お台場海浜公園ではお弁当をとったり、みんなで写真撮影をしたりして、さまざまな景色やコメントの素晴らしさを堪能することができました。1日目の午後の時間帯でまだ早かったのですが、お土産を東京タワーで買いました。名物やおうちの方のお好みの物を、楽しんで探していました。都内を一望できる眺望には、一同圧倒されていました。宿舎は東京セントラルユースホテルでした。友達とひとつ屋根の下で、ご飯を食べたりお風呂に入ったり、寝たりすることに、わくわくが止まらない様子が伝わってきました。目をキラキラさせて友達と生活を

していました。きっと最高の思い出が作れたことでしょう。

2日目は、上野動物園・国立科学博物館・東京都美術館の中から、行きたいところをひとつ選びグループ行動が展開されました。可愛い動物に癒された



り、科学の世界に驚いたり、美しい作品に目奪われたりするなどして、昼食場所に集合した時の顔は、誰もが満足していました。昼食をとった後、地下鉄で浅草まで移動しました。歴史情緒あふれた街並みを味わった後、グラスファクトリー創吉にて江戸切子体験をしました。模様を選びグラインダーで削ることで、世界でひとつのグラスを完成させることができました。素敵なお土産と思いがまた追加されました。

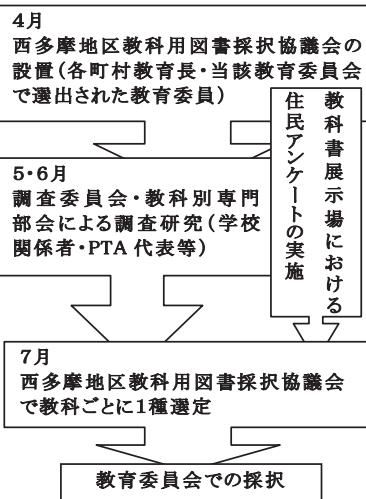


夕方遅くにみんな成長した顔つきをして、奥多摩へ戻ってきました。

氷川小 大久保有彩

令和2年度から令和5年度まで使用する小学校教科用図書及び令和2年度に使用する中学校教科用図書が決まりました

7月26日の教育委員会定例会において、令和2年度使用教科用図書の採択が行われました。採択までの流れと採択結果は図・表のとおりです。なお、中学校につきましては、平成28年度より使用している教科用図書からの変更はありません。



令和2年度使用小学校教科用図書

種目	発行者	教科書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	書写
社会	東京書籍	新しい社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	東京書籍	新しい算数
理科	大日本図書	たのしい理科
生活	東京書籍	新しい生活
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図工	開隆堂出版	図画工作
家庭	開隆堂出版	小学校 わたしたちの家庭科
体育	学研教育みらい	みんなの保健
外国語	教育出版	ONE WORLD Smiles
特別の教科 道徳	日本文教出版	小学校道徳 生きる力

令和2年度使用中学校教科用図書

種目	発行者	教科書名
国語	光村図書出版	国語
書写	教育出版	中学書写
社会 地理的分野	帝国書院	社会科 中学生の地理
社会 歴史的分野	帝国書院	社会科 中学生の歴史
社会 公民的分野	帝国書院	社会科 中学生の公民
社会 地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	東京書籍	新編 新しい数学
理科	東京書籍	新編 新しい科学
音楽	教育出版	中学音楽(器楽)
美術	日本文教出版	美術
保健体育	学研教育みらい	新・中学保健体育
技術	開隆堂出版	技術・家庭(技術分野)
家庭	開隆堂出版	技術・家庭(家庭分野)
外国語	学校図書	TOTAL ENGLISH

令和元年度全国学力・学習状況調査結果からみる、児童・生徒の学習状況について

平成31年4月に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。例年の国語と算数・数学に加えて、今年度は中学校英語の調査も実施されました。本調査の結果から、奥多摩町の子どもたちは、義務教育を終えるまでに、基礎的・基本的な学習内容の定着が概ね図られていることが見て取れました。ここでは、奥多摩町の子どもたちの正答率が低かった調査問題を取り上げます。このような問題を子どもたちは苦手としていることを踏まえて、本調査結果を学校での指導やご家庭での教育にお役立ていただきたいと思います。

小学校・国語

☆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題

公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の一部を漢字を使って書き直しましょう。

【報告する文章の一部】※調査問題から一部抜粋しています。

公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います。

正答：関心

◇奥多摩町の小学6年生の約8割が誤答となり、このうち約5割が「感心」と回答し、約2割が無回答でした。
 ・既習の漢字について、同じ音をもつ漢字を使い分けることを苦手としています。

小学校・算数

☆式の意味について理解しているかを見取る問題

「リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。このリボン1m分の代金は、いくらですか。」という問題について考えています。ゆいなさんは、次のような式にして答えを求めました。

『 $180 \div 0.6$ は、 $1800 \div 6$ と商が変わらない』

$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえますか。

※調査問題から一部抜粋（簡略化）しています。

あ 0.6m分の代金 い 1m分の代金 う 6m分の代金 え 10m分の代金

正答：い

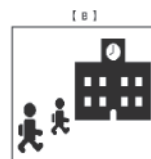
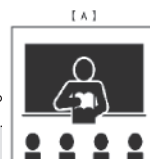
◇奥多摩町の小学6年生の約8割が誤答となり、「あ・う・え」をそれぞれ約2割程度の児童が選択していました。
 ・具体的な場面を設定し、図や数直線などを用いて考察する力の育成が求められます。

中学校・英語

☆自分の考えを英語で書く問題

海外のある町が、外国人旅行者に分かりやすいタウンガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム（案内用記号）のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。

どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で答えなさい。



◇全国、東京都でも完答できた生徒は限られました。奥多摩町の生徒も同様の結果でした。
 ・自分の意見をもち構成を考えて、まとまりのある文章（分量のある英文）を書くことに慣れていく必要があります。

【町教育委員の構成】

職名	氏名	住所	任期
教育長	若菜 伸一	奥多摩町川野 66番地3	自R元.10.1 至R 4.9.30
教育長 職務代理者	石田 充法	奥多摩町小丹波 519番地	自R元.10.1 至R 5.9.30
委員	小峰 洋治	奥多摩町氷川 304番地	自H30.10.7 至R 4.10.6
委員	大澤美和子	奥多摩町白丸 82番地	自H28.10.1 至R 2.9.30
委員	原島 幹典	奥多摩町氷川 1422番地	自H31.3.6 至R 3.9.30

**教育長に若菜伸一氏 再任
教育委員に石田充法氏**

9月30日で任期が満了となり、9月の町議会定例会に提案し、議会の同意を得て10月1日付で若菜伸一氏が教育長に、石田充法氏が教育委員に再任されました。

また、石田氏は教育委員会の会議において、教育長職務代理者に再任されました。これに伴い教育委員の構成は次のとおりとなりました。

教育委員会の動き

- ◎5月定例会(5月29日)
 - ・教育長報告、教育課長報告他
- ◎6月定例会(6月24日)
 - ・教育長報告、教育課長報告他
- ◎7月定例会(7月26日)
 - ・議案第12号―令和2年度使用小学校教科用図書及び中学校教科用図書の採択について
- ◎8月定例会(8月26日)
 - ・議案第13号―奥多摩町学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則他1議案
- ◎9月定例会(9月25日)
 - ・議案第15号―奥多摩町教育委員会教育長職務代理者の指名について
- ◎10月定例会(10月15日)
 - ・議案第16号―奥多摩町社会教育委員の委嘱の承認について他1議案



学校給食費が改定されます

現在の学校給食は平成27年10月に改定し、児童生徒へのより良い給食の提供に努めてまいりましたが、近年の食材価格の高騰により給食の栄養価や食事内容の維持が困難となつてまいりました。また、平成30年8月には、文部科学省において「学校給食摂取基準」が改正され、エネルギーやたんぱく質の基準値が増加し、さらなる栄養量の確保が必要となっております。

つきましては、栄養量の確保とともに健全な給食の運営を図るため、令和2年4月より、別表のとおり学校給食費を改定いたします。

今後も安全・安心で栄養バランスの良い学校給食の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

《改訂後の学校給食費》

区分	月額	増額
小学校(低学年)	4,100円	300円
小学校(中学年)	4,400円	300円
小学校(高学年)	4,700円	300円
中学校	5,600円	300円

図書館より新しい本のご紹介

一般書

- トリガー(上下) KADOKAWA 真山仁 著
- 命あれば 新潮社 瀬戸内寂聴 著
- 飛雲のごとく 文藝春秋 あさのあつこ 著
- 盲剣楼奇譚 文藝春秋 島田 荘司 著
- 落日 角川春樹事務所 湊かなえ 著

児童書

- かわにくまがおっこちた 岩崎書店レウインファミ絵 じゃない!
- フレール館チヨールヒカル作 あやしいぶたのたね 絵本館 佐々木 マキ作・絵
- ライオンになるには B.L出版 エド・ヴィアー作
- ヤービの深い秋 福音館書店 梨本 香歩 作

区域外就学及び指定校変更について

各小・中学校ごとに通学区域を定め、児童生徒に就学すべき学校を指定しておりますが、指定校以外への就学を希望する場合は教育委員会に申立等をする事ができます。

区域外就学

奥多摩町以外から奥多摩町立学校を希望する場合

指定校変更（小学校のみ）

教育委員会が指定した学校以外に就学を希望する場合
申立ができるのは主に次の理由です。

- ・ 転居予定
 - ・ 身体的理由
 - ・ その他特別な理由により教育的配慮が必要と思われる場合等
- 手続き方法**

印鑑、事由別にそれぞれ必要な書類がありますので、事前にお問い合わせください。

申請の内容を審査し変更の可否を行います。学校運営上または施設状況等から判断し、ご希望に添えない場合もあります。

【問合せ先】

教育課学務係 ☎ (83) 2246

就学援助費 新入学児童生徒用品費の入学前支給について

経済的な理由によってお子さんの就学費が困難なご家庭に対して学用品費、学校給食費など学校でかかる費用の一部を援助しています。「準要保護」認定を受けた場合に就学援助費のうち、入学に必要な「新入学児童生徒用品費」について、入学前の3月に支給を実施します。支援を希望される方は、左記の要件を確認のうえ必要書類を添えて申請してください。

次のすべての要件に該当する方

- ・ 令和2年2月1日に、町に住民登録がある方
- ・ 令和2年4月に、公立小・中学校の入学予定の方
- ・ 準要保護世帯である方（審査会で認定を受けた世帯）

【申請期間】

令和元年12月16日から
令和2年1月17日まで

【申請・問合せ先】

教育課学務係 ☎ (83) 2246

＊教育相談室＊

思いを伝える

相談員 原島富子

新聞の「子育て相談」の欄を覗いていて、考えさせられる内容と回答がありました。

ある母親からの相談です。大學生の息子は「うざい」の一点張りで口をきかない、万引きをしたり、嘘をつくようなもなつた。どのように対応すればいいのでしょうか。また、父親は息子に対して高圧的な態度で接してきたり、母親も何かあると「お父さんに言うよ。」と脅かしたりしてきたとも言っていました。

その質問に対する子どもコンサルタントの原坂一郎さんの回答は、「こゝ両親の対応は、愛情からくるものだったかも知れず、そうであったなら、息子さんが誤解していても構わない。そして、その誤解を解くには、ご主人から息子さんにその気持ち伝えてもらいましょう。仮に返事もない一方的な会話だったとしても、伝えることが大切で

す。もしも何か言ったなら、それを100%肯定する態度が修復の近道です。」

思春期の子どもだけでなく、自我の発達と共に自己中心的で、すぐ怒ったり泣いたりする子どもと、どう接すればいいのか困った経験をされた親御さんはいらっしゃると思います。家族だから親子だから、言わなくても分かってくれるだろうと自身も思うことがありました。けれど、思いを伝えることも大切なのですね。

思いを伝えるために、日頃から親子のコミュニケーションを取り、その中で子ども様子を知ったり、親の思いも伝えることができるのではないのでしょうか。



FAX番号変更のお知らせ

令和元年12月1日より、教育相談室のFAX番号が次のとおり変更となりました。

旧FAX番号 (83) 2551

新FAX番号 (83) 2340

(電話番号と同じ番号となります)

郷土奥多摩(文化財)

その15

町内のお地藏さまを訪ねて

文化財保護審議会委員 梶谷 義明

町内の旧各村々の中ほどや村はずれに、また、墓地などにお地藏さまは多く祀られています。

♪村のはずれのお地藏さんは、いつもニコニコ見てござる♪と童謡に歌われているように、私たちにはお地藏さんという親しみのある呼び方がピッタリとする仏様です。

地藏信仰は平安期に中国から伝わり、鎌倉・室町と時代が下がるにつれ、民間の信仰にまで浸透してきました。お地藏様は正式には「地藏菩薩」といい、仏教の信仰対象である「菩薩」という仏で、「如来」に次ぐ高い地位の仏です。地藏菩薩は六道(地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天道)を自ら行脚して、救われない衆生や幼くして亡くなった子どもの魂を救いながら旅を続けられたそうです。こうして、地藏菩薩は最も弱い立場の人々を最優先で救済す

る菩薩として、古くから絶大な信仰の対象となったようです。

町内には有形文化財として指定されたお地藏さまは、二体あります。

大丹波(南平)の六地藏

大丹波の集落中ほどの「釜めし なかい」さんの入口の左角に、植木の中に隠れるように佇んでおられます。



大丹波の六地藏

一見灯籠と見間違えるような四角柱の珍しい形をしています。各辺の長さは24cmで、東西に二体ずつ、北向きに一体の地藏が浮き彫りにされ、南側は9cm角の窓の中に空洞が彫られ、その中に一体の地藏がおさめられて六地藏となっています。

江戸中期の宝暦年間(1751年〜1764年)の建立と言われ、砂岩で作られ風化がかなり進んでいます。

小丹波(大神)の七地藏

小丹波の給食センターから寸庭に向かう途中、小さな道との辻角に立派な覆い屋で囲われています。



小丹波の七地藏

大丹波の六地藏と似ていますが、大きな違いは四角柱の面に七体の地藏が浮き彫りにされているところです。東向きに一体、北南西の面に二体ずつあり、合わせて七地藏となっています。

こちらのお地藏さまは、大丹波の六地藏よりもさらに60年余りさかのぼった元禄年間(1688年〜1704年)の建立といわれています。同形の七地藏は、福生の清石院の境内にあり、あるいは同じ石工の作ではないかと想像をめぐらされます。

六地藏や七地藏の由来には諸説あるようですが、六地藏については、先に記述した六道に転生しようとする亡者を救済する

ための地藏菩薩であるという説が有力のようです。一体加わった七地藏については、それぞれの地域で諸説ありますが、小峰の宝福寺(峰生活改善センター)にある七地藏の中央の一体は他の六体に比べひと回り大きく、「六地藏と阿弥陀如来」という説が有力ではないかと思われま



峰の七地藏

の七地藏」の先には自然石に浮彫されたお地藏様が覆い屋で囲われ大事にされています。

お地藏さまは菩薩でありますから、身にはいろいろな装身具を付けなければならぬのです。ただ頭を丸めて法衣を着た簡単な姿は、私たちが近づきやすい姿で見守っていただいているようです。



紹介した以外にも、町内には大丹波の蟬沢橋を少し過ぎたあたりや「小丹波